

# 中京中だより

学校通信 No. 8 通巻116号

平成27年 1月7日

日	曜	1月の行事予定	給食
1	木	元旦	
2	金	冬季休業 ～ 1/6	
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		
7	水	Ⅲ期開始	×
8	木		○
9	金		○
10	土		
11	日		
12	月	成人の日	
13	火	学校公開 1/13 ～15	校内授業研究 期間(～1/23) ○
14	水		5, 6限人權講演会 ○
15	木		○
16	金		○
17	土		
18	日		
19	月		○
20	火		○
21	水	1, 2年5, 6限性教育	○
22	木	避難訓練	○
23	金		○
24	土	土曜学習(3年)9:00～11:00	
25	日		
26	月		○
27	火		○
28	水	3年第5回定期テスト	○ 3年×
29	木	3年第5回定期テスト 午後研究授業	○ 3年×
30	金		○
31	土		

1月預かり金振替は 13日(火)と26(月)です。  
(3年生は12月で終了しました。)

1年 5,000円 2年 5,000円

1年1組 5,000円 2年1組 5,000円

2015年元日 雪が降りました。元日の雪は縁起が良いといいますが、しかし京都で観測史上4番目の大雪、人の動きが激しい年末年始、交通の上ではこの雪は大変だったようです。

その前に私は年末30日の早朝、我が家の伝統行事である餅つきの準備のため重量のある石臼を持ち上げようとして、腰の筋を痛めてしまいました。おかげさまで正月3が日は痛みのため動けず、家の中でじっとしていました。しかしながら、今年は新聞や様々なニュースや本をじっくり読むことができました。

新聞や、ニュースを見ていると、今年は太平洋戦争が終わり70年だそうです。新聞の受け売りですが、この国は70年間の長い時間、戦争のない平和な時代が続いたということです。むろん平和とはいえ、今の世の中に問題がないわけではありません。しかしながら平和であるということは重要なことです。戦争こそが生存権はく奪という一番の人権侵害であるからです。

こんな言葉があります。「過去に目を閉ざす者は、現在も見えない。」ワイツゼッカー元西ドイツ大統領が行った終戦40周年演説の一節です。ドイツはかつて欧州のみならず世界を巻き込む大戦を引き起こしました。そして戦後その国土は、東ドイツと西ドイツに二分され、戦後45年たって統一されました。戦後ドイツは過去の戦争の歴史への真摯なまなざしと反省の上に立っていると評価されているそうです。最近さまざまな文献を読み分かったのですが、その国が戦争に国を向かうとき、その原動力は軍や一部の政治家や財閥だけではないのです。世論という大きなうねりも国を戦争へと向かわせるそうです。そしてその世論を作り上げたのは大衆です。つまり大衆というのは私たちであることを忘れてはなりません。

私たちは同じ間違いをしないために、学ばねばなりません。過去のこと、現在のことを。そのためには、言語やものの見方、考え方などを学ぶ必要があります。では具体的にはどんなことかという、国語や英語、数学、社会、科学、芸術などです。生徒のみなさんが中京中学校で学んでいることです。これらはリベラルアーツと呼ばれ、ギリシャ・ローマ時代に理念的な源流を持ち、ヨーロッパの大学制度において中世以降、19世紀後半や20世紀まで、人が持つ必要がある技芸(実践的な知識・学問)の基本と見なされたものです。日本では「教養」と翻訳されています。

何が正しいのか、私たちが平和に暮らすために必要なことは何か、過去の歴史や人の思い、そして知識が必要です。リベラルアーツ(教養)は、物事を見つめ、認識し、判断するときのものさしになります。みなさんの日々の学習は、まさにリベラルアーツ(教養)を身に付けていくといなみです。

いよいよⅢ期がはじまりました。でも痛めた私の腰はまだ万全ではありません。年のせいか治りが遅くなっているような気がします。

あつ、そうそう餅つきはどうなったかって、すぐに餅つき機を家電量販店へ買いに行きました。これが素晴らしい。いままで餅つきで苦勞していたことがなんだったのかと思い知らせました。もっと早く、石臼と杵から餅つき機に切り替えていれば、私も正月つらい目に合わなくて済んだのにと悔しい思いをしました。文明の利器を知るべきでした。これこそリベラルアーツ(教養)かなと、思い知らされた次第です。とほほ...(T\_T)。

教務主任 松岡 進

## 2月の予定

4(水)オーケストラ入門教室

9(月)小中交流会 21(土)1, 2年土曜学習

25(水)～27(金)1, 2年第5回定期テスト

◆10(火)～12(木)私学入試

◆16(月)～17(火)公立前期入学検査

◆20(金)公立前期合格発表

# 12月は人権について考えました。

## 『身のまわりの人権学習(1年)』 12/3(水)5,6限

1年生は「身のまわりの人権問題」をテーマに、障がいのある人への理解と、バリアフリーな社会について考えを深めました。5限は、アイマスク体験をし、目の不自由な人のたいへんさを実際に経験するとともに、ガイドヘルパーの適切な動きも学習しました。

6限は教室で、5限のアイマスク体験をもとに、ワークシートを使い、身のまわりの「バリア」になっているものを班ごとに見つけだし発表しました。最後は、「バリアフリー」の社会の実現に向けて自分は何ができるのかを考えました。



## 『社会の中の人権問題(2年)』 12/3(水)5,6限

2年生は「社会の中の人権問題」をテーマに、国際理解と平和について学びました。5限は「カカオ豆貿易ゲーム」を体験。ゲームを通して、先進国と途上国の貧富の格差を知るとともに、フェアトレードの動きも学習しました。6限目は、「世界がもし100人の村だった」を視聴し、5限の気づきをさらに深めていきました。



## 『さまざまな人権問題(3年)』12/3(水)5,6限

3年生の人権学習のテーマは、「さまざまな人権問題」です。11月に体験した児童館での乳幼児さんとその保護者の方々との交流を通し、子育ての問題を考えます。まずは、5限は体育館での「乳幼児とのふれあい体験」の事後学習発表。ポスターセッション形式のプレゼンで各班意見交流しました。



6限は、ポスターセッション発表のまとめを教室で行いました。それぞれの気づきを付箋に書き上げ、模造紙を使って、マトリクス的に貼っていきます。

子育ての喜びや不安に視点をあて、みんなの考えをまとめあげました。2時間の学習を通して、人の命や愛情の大切さを考えました。



## 『中京区役所に訪問しました』 12/19(金)

3年生は「乳幼児とのふれあい体験(家庭科)」や「人権学習」をふまえ、「児童虐待をなくすための子育て支援政策」を一人ひとりが考え、それを中京中生の提言としてまとめました。代表生3名が提言書を持って中京区役所を訪問し、手渡すことができました。



## 『1組の交流会』 12/8(月)

この日1組は、洛北中、西京極中のみんなと交流学習を行いました。(年間を通して実施をしています。)写真は、午前中に本校調理室で行われた調理実習の様子です。おいしいカレーをいっぱいつくりました。

午後からは1組の教室で交流学習を続けました。普段は人数の少ない学級ですが、この日はたくさんのなかまでにぎやかでした。